

# 2015(平成27)年度資金収支予算概要

学校法人 和泉短期大学

収入の部

(単位:千円)

## 資金収支計算書

2015年度における法人の全ての諸活動に対する収入と支出の資金の動きを明らかにした計算書類。企業会計の「キャッシュ・フロー計算書」に相当

科目	2015年度	2014年度	比較増減
学生生徒等納付金収入	624,700	638,400	△ 13,700
手数料収入	8,490	8,490	0
寄付金収入	500	500	0
補助金収入	40,100	49,362	△ 9,262
国庫補助金収入	40,000	40,100	△ 100
地方公共団体収入	100	9,262	△ 9,162
付随事業・収益事業収入	3,223	2,180	1,043
受取利息・配当金収入	9,000	10,000	△ 1,000
雑収入	31,489	2,160	29,329
前受金収入	213,350	213,450	△ 100
その他の収入	121,877	424,537	△ 302,660
資金収入調整勘定	△ 242,370	△ 213,350	△ 29,020
<b>資金収入合計</b>	<b>810,359</b>	<b>1,185,091</b>	<b>△ 374,732</b>
前年度繰越支払資金	2,037,843	1,863,486	174,357
<b>収入の部合計</b>	<b>2,848,202</b>	<b>3,048,577</b>	<b>△ 200,375</b>
<b>支出の部</b>			
人件費支出	423,027	382,599	40,428
教育研究経費支出	142,927	154,602	△ 11,675
管理経費支出	101,357	103,023	△ 1,666
施設関係支出	101,358	123,620	△ 22,262
土地	100,000	100,000	0
建物	1,358	23,620	△ 22,262
設備関係支出	23,966	7,638	16,328
教育研究用機器備品	18,775	5,140	13,635
管理用機器備品	3,951	1,258	2,693
図書	1,240	1,240	0
資産運用支出	70,653	301,834	△ 231,181
有価証券購入支出	12,000	0	12,000
第3号基本金引当特定資産	585	466	119
減価償却引当金繰入支出	56,000	0	56,000
定期預金繰入支出	0	299,300	△ 299,300
積立保険金	2,068	2,068	0
その他の支出	12,000	11,997	3
奨学貸付金	3,150	3,150	0
前期末未払金	3,150	3,260	△ 110
前期末預り金	5,700	5,587	113
[予備費]	30,000	30,000	0
資金支出調整勘定	△ 3,221	△ 3,150	△ 71
<b>資金支出合計</b>	<b>902,067</b>	<b>1,112,163</b>	<b>△ 210,096</b>
翌年度繰越支払資金	1,946,135	1,936,414	9,721
<b>支出の部合計</b>	<b>2,848,202</b>	<b>3,048,577</b>	<b>△ 200,375</b>
<b>資金収支差額</b>	<b>△ 91,708</b>	<b>72,928</b>	<b>△ 164,636</b>

1年250名(定員) 2年257名(13名減)  
専攻科 20名(定員)

検定科 児童福祉学科 250名  
専攻科 20名

教育環境充実資金(特別寄付金)

講習会収入 2,375  
受託事業収入 848

金利低下平均利回り 0.165%

設備利用料、退職金財団交付金他

第2号基本金引当特定資産等取崩  
預り敷金、奨学貸付金回収他

2014年度前期学納金、期末未収入金

2014年度末 現金預金

教職員平均定昇他

2号館内壁塗装、床改修工事他

広報宣伝費他

第2号基本金組み入れ計画による  
土地取得(前年度から繰延)

簡易間仕設置、手摺設置

アクティブラーニング室整備備品他

食器洗浄機(学生食堂)他

食器洗浄機(学生食堂)他

第3号基本金引当特定資産への繰入

教職員団体養老保険

和泉奨学金 6名

2014年度退職金財団掛金

私学事業団共済掛金他

2015年度退職金財団掛金

2015年度末 現金預金

# 2015(平成27)年度 事業活動収支予算概要

(単位:千円)

事業活動収支計算書  
(旧 消費収支計算書)

2015年度における学校法人の事業活動の収支均衡状況を明らかにし、法人が健全であるかを示す計算書類。企業会計の「損益計算書」に相当。

科 目	年 度		比較増減
	2015年度予算	2014年度予算	
学生生徒等納付金	( 88.2% )	( 89.8% )	
手数料	624,700	638,400	△ 13,700
寄付金収入	( 1.2% )	( 1.2% )	
経常費等補助金	8,490	8,490	0
付随事業収入	( 0.1% )	( 0.1% )	
雑収入	500	500	0
教育活動収入計	( 5.7% )	( 6.9% )	
人件費	40,100	49,362	△ 9,262
教育研究経費	( 1.3% )	( 1.4% )	
管理経費	3,223	2,180	1,043
教育活動支出計	( 0.5% )	( 0.3% )	
教育活動収支差額	31,489	2,160	29,329
受取利息・配当金	( 4.3% )	( 0.3% )	
教育活動外収入計	708,502	701,092	7,410
教育活動外支出計			
教育活動外収支差額			
経常収支差額	( △ 22,160 )	( △ 3,582 )	( △ 18,578 )
特別収入計			
特別支出計			
特別収支差額			
基本金組入前当年度収支差額			
基本金組入額合計			
当年度収支差額			
前年度繰越収支差額			
基本金取崩額			
翌年度繰越収支差額			
事業活動収入計			
事業活動支出計			
事業活動収支差額比率			

経常費補助金 40,000  
地方公共団体補助金 100

新会計基準により勘定科目の  
大科目の名称変更  
小科目は講習会収入  
受託事業収入

専任 17名、特任2名  
専攻科 3名

児童福祉学科41名 (6名増)

専任 14名、法人1名  
契約 2名

契約職員、看護師、カンセー  
学生アルバイト他

広報宣伝費 22.5%  
(管理経費に占める割合)

受取利息  
教育活動外収入の区分  
経常的な収支のうち財務活動等  
によるもの

特別収支  
特殊な要因により一時的に発生  
した臨時的なもの  
現物寄付  
・相模原市への土地無償譲渡

教育活動収支差額 + 教育活動外収支  
差額 = 経常収支差額  
経常収支差額 + 特別収支差額 =  
基本金組入前当年度収支差額  
(旧 帰属収支差額)

基本金組入額内訳 △ 585

第3号基本金組み入れ 585

基本金取崩額内訳 16,999

第1号基本金組み入れ 83,001  
第2号基本金 第1号への振替 △100,000

## 2015 年度予算書概要説明

2015 年度に学校法人会計基準改正が施行され、計算書類の予算書は、資金収支予算書と事業活動収支予算書を作成することになります。

**資金収支予算書**の資金収入合計は、810,359 千円、資金支出合計は 902,067 千円です。

資金収支差額は、91,708 千円支出超過になる見込みです。

**事業活動収支予算書**は、教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の 3 つに区分され、区分ごとに収支差額を求めます。事業活動収入合計は 717,502 千円です。基本金組入前当年度収支差額は 66,279 千円支出超過です。基本金組入額は、第 3 号基本金として、基金による運用果実（利息）から奨学事業経費を控除した残額 585 千円組み入れを行います。

第 1 号基本金は、対象資産である土地、構築物等の除却等による取り崩しを行うため、基本金取崩額に 16,999 千円を計上します。

事業活動支出合計は 753,781 千円です。2015 年度繰越収支差額（旧消費収支差額）は、66,864 千円支出超過になり、基本金組入前当年度収支差額（旧帰属収支差額）は 66,279 千円の支出超過になる見込みです。

### ○ 今後の和泉短期大学の財政見通しについて

少子化による 18 歳人口の減少、保育者養成校の増加、入学定員の厳格化等、本学を取り巻く経営環境は年々厳しさを増しています。また、2014 年度は私立大学の約 46% (265 校)、短期大学の 65% (207 校)が入学定員割れという状況にあります。

本学は、帰属収入の約 88% を学納金に依存している現状において、入学者の定員確保、離学者の防止をしていかなければなりません。2015 年度は、外部資金等の導入による経営戦略として、文部科学省の競争的資源配分の獲得に向け、教育の質の向上を図るため、アクティブ・ラーニング室の整備を行います。

相模原市に移転後 39 年が経過し、校舎等の修繕工事計画及び教育研究活動の維持向上を図りながら、経費の削減をはじめとした経営の効率化とのバランスを保ち、一層の財政基盤の強化を図って参ります。

深町正信理事長による 2015 年度「学校法人和泉短期大学の基本構想」は、次の 4 つ柱「1. 2 号館外壁塗装、館内共用部ビニール取替修繕工事 2. アクティブ・ラーニング室整備、3. キャンパスの集約、4. 給付型奨学金・学生顕彰制度の充実と実施。」をもとに事業展開を致します。

年々厳しさを増している状況下において、本学の教育環境を整備充実していくには、将来にわたり支出要因が多いため、2015 年度も募金活動を行い、さらなる発展を目指して今後も「出るを制して、入るを計る」ことを原則として業務改善に取り組み、一層の合理的・効率的な支出を行い、資金の有効活用に努めます。

建学の精神である「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」、スクールモットーである「愛と奉仕」に基づいた特色のある教育の展開により、学生にとって居心地の良い明るいキャンパス、地元密着型、実力養成型の短期大学を目指して教職員、法人関係者一体となって努力して参ります。

事務局長 土 橋 正 文